

- 当機とマグネットセンサーと組み合わせ、箱わなの作動をメールやLINEでお知らせ
- 安価でエリアが広域な携帯電話の電波(LTE-M)を使用
- シンプル機能の機器を部品として活用し通知装置を自作することで、初期費用・運用費用を軽減

企業概要

株式会社ソラコム（東京）
お問合せ
<https://soracom.jp/contact/>

IoT/M2M向けの通信プラットフォームを提供。20,000超の様々な業界・規模のお客さまがサービスを利活用。IoTデバイスの選定支援、通信サービス、アプリケーションなどを、ワンストップで支援。

SORACOM LTE-M Button Plus



サイズ：約97×33×14mm
質量：約50g

<https://soracom.jp/store/5207/>

設置イメージ



機器情報

機器の概要

◇ 捕獲をメールやLINEで通知

- ・当機とマグネットセンサーを組み合わせ、捕獲状況を離れた場所から確認できるシステムを安価に作成可能
- ・通信機能と接点端子が備わったIoTボタン
- ・LTE-M通信を内蔵し、単四電池で駆動
- ・接点端子の閉じ方に応じたアクションを割り当て可能
- ・無料のデータ転送サービスを利用し、複数の宛先のメール等への通知が可能
- ・参考：ドアの開閉通知装置作成手順書を公開中
https://soracom.jp/recipes_index/2966/

使用目的

捕獲通知（箱わな）

対象獣種

箱わなで捕獲できる獣全般（イノシシ、シカなど）

活用技術

- LTE-M（省電力、即時性、信頼性に優れた既存の4G LTEの携帯電話通信網を利用するLTE標準規格）
- 通信規格：LTE Cat.M1（LTE-M） eSIM 内蔵
- 電源：単4アルカリ乾電池2本（電池交換可能）

導入実績

➤ 導入市町村

- ・青森県、熊本県、福岡県、他多数
- ・九州農政局農村振興部農村環境課でも捕獲通知機器の作成手順書を公開

https://www.maff.go.jp/kyusyu/seiryuu/cyoujyugai/wana_tsu.html

➤ 導入効果

- ・見回り作業の負担軽減
- ・捕獲後の迅速な対応によるジビエ活用
- ・通知システムの初期導入費用や維持費の削減
- ・単体で広いエリアで通信が可能
- ・複数の宛先へ通知可能で、作業効率が向上

イニシャルコスト、ランニングコスト

➤ イニシャルコスト

SORACOM LTE-M Button Plus 7,380円（税別）

<https://soracom.jp/store/5207/>

※組み合わせるマグネットセンサー等は別途購入

➤ ランニングコスト

月額100円（アクティブSIM100枚まで）+データ通信料
（目安：1作動当たり約0.002円）